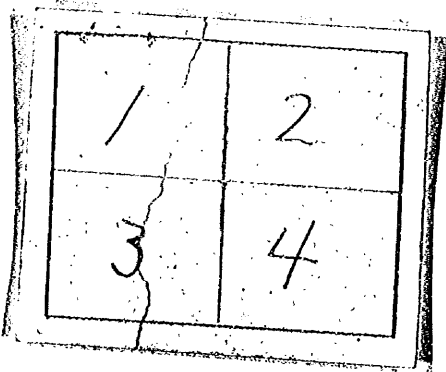


# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1332  
1333  
1334  
1335

62

了  
在  
世  
編

部  
隊  
原  
簿

部  
隊  
原  
簿

3

Handwritten notes in the top right corner, including the characters "部" and "隊".

部  
隊  
原  
簿

A

30A

部隊原簿

第一三八師團

30A

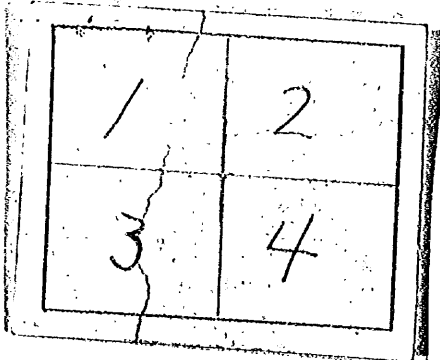


部隊原簿

第一三八師團

30A

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

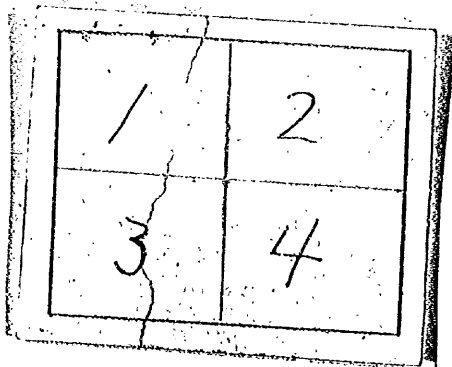








# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



1340  
1341  
1342  
1343

				全般概要	場所
				轉入 十九年以降	第三方面軍三〇軍部隊名
				轉出 十九年以降	
				員人制編	
小 兵 衛	部 器 兵	部 器 獸	部 醫 軍	別 隊	第一三八師團司令部 (一)
少尉 大平				(内は先代を承す)	
				戰 闘 間 人 時 員 平	通稱號
右 同	右 同	右 同	石 務	駐 屯 地	
右 同	右 同	右 同	順 燕	戰 闘 間 人 時 員 戰	不動三七二五七
				戰 闘 間 人 時 員 戰	
				戰 闘 間 の 状 況 及 損 耗	郵便所名
				終 戦 後 の 人 員 變 動	
				作 業 大 隊 よ り 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員
				隊 別 計	
				滿 洲 殘 留	收 入

隊名

第一三八師團司令部(二)

通稱號

不動三七二五七

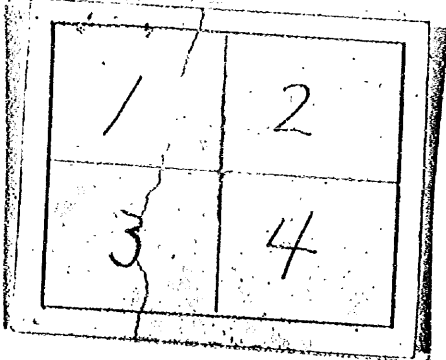
郵便所名

別隊	隊長名 (内は先代を示す)	戦開人員 時員	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ迄の變動	隊別計	入ソ人員	満洲残留	收容所名	收容所	死亡	満洲より領	歸還人員計	状況不明者数
小 兵 衛	少尉 大平														

	衛 兵 小 隊	兵 器 部	獸 醫 部	軍 醫 部
	少尉 大卒			
	右 同	右 同	右 同	三 等
	右 同	右 同	右 同	四 等

	衛 兵 小 隊	兵 器 部	隊 醫 部	部 醫 部
	少尉 大卒			
	右 同	右 同	右 同	右 同
	右 同	右 同	右 同	右 同

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



3409					員人制編
三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本	別隊
松本	廣瀬	清水	副官 少尉 山田万喜男	大佐 副官 順員 良民 中尉 松岡 國雄	隊長名 (内は先代を示す)
110	約110	約110	約20	約80	戦時 人員
右同	右同	右同	右同	右同	平時
右同	右同	右同	右同	右同	戦時
					駐屯地
					戦闘間の状況及損耗
					終戦後の人員變動
					作業大隊より 入ソノ迄の變動
					隊別 計
					入ソノ人員
					滿洲残留
チタ(二五)	タリセツト チタ(二四)	カクイ	ダラヌン 聯隊本部 第一中隊 第二中隊 通信本部	收容所名	收容所
					人員
					死亡
					滿洲より ソノ領 計
					人員
					者数
					状況不明

部隊名 歩兵第三七七聯隊(一)

通稱號

不動三七二六七

郵便所名

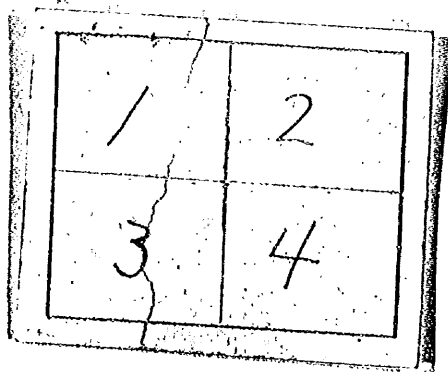




隊中銃機一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本
	松本	廣瀬	清水	副官 山田万喜男	少尉
約70	約110	約110	約110	約20	約80
右同	右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同	右同
約400					
	チタ(二五)	タ「セツト チタ(二四)	カクイ	ダラス 第一隊本 第二隊中 第三隊部 通信中隊	

# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

1348  
1349

1350  
1351

所 属  
三〇軍第一三八師團 部隊名 歩兵第三七七聯隊(二)

通稱 不動三七二六七

郵便所名

全般概要  
二〇、九、一七、奉天三九  
大(混入(主力))  
作業大隊編成並隊約二〇  
名  
隊長二八名に警備大隊(編  
入  
員大佐及警備五、下士五  
他大隊)

轉入  
十九年以降

轉出  
十九年以降

人員編成

別 隊

隊長名  
(内は先代を示す)

戦 闘  
時 間

駐 屯  
地

戦 闘  
時 間

戦 闘  
時 間  
の 状 況 及 損 耗

終 戦 後 の 人 員 變 動

作 業 大 隊 以 前  
入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員  
除別計

滿洲殘留

收

第	隊 中 五 第	隊 中 四 第	部 本 隊 大 二 第	李 行 隊 大 一 第	隊 小 砲 兵 步 隊 大 一 第	別 隊
須田			大尉 岡田 章			(内は先代を示す)
	約110	約110	約20		約40	戦 闘 時 間
同	右 同	右 同	右 同	右 同	石 碇	駐 屯 地
同	右 同	右 同	右 同	右 同	順 強	戦 闘 時 間
						戦 闘 時 間 の 状 況 及 損 耗
						終 戦 後 の 人 員 變 動
						作 業 大 隊 以 前 入「ソ」迄の變動
						入「ソ」人員 除別計
						滿洲殘留
						收

第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩隊大一第	別	隊
須田			大尉 岡田 章			( ) 内は先代を 示す	隊長名
	約110	約110	約20		約40	時員	戦 隊 員 入
同	右 同	右 同	右 同	右 同	石 磐	平 時	駐 屯 地
同	右 同	右 同	右 同	右 同	順 齋	戦 時	
							戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗
							終 戦 後 の 人 員 変 動
							作 業 大 隊 よ り 入 ソ 返 の 変 動
						隊 別 計	入 ソ レ 入 員
							滿 洲 殘 留
						收 容 所 名	收 容 所
						員 所 入	
						死 亡	
						滿 洲 ソ 領 よ り	歸 還 人 員
						計	
						者 数	狀 況 不 明

歩兵第三七七聯隊(二)

通稱號 不動三七二六七

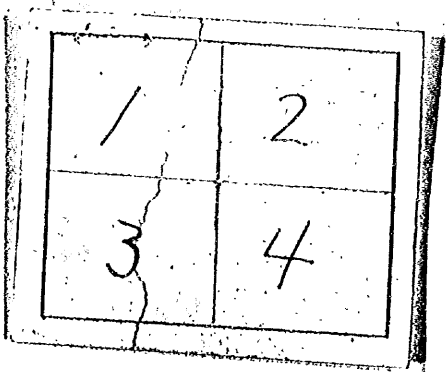
郵便所名



隊小砲兵歩隊大二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩隊大一第
	須田			大尉 岡田 章		
	約110	約110	約110	約20		約40
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1353  
1354  
1355

所 属  
二〇軍第一三八師團

部隊名  
歩兵第三七七聯隊(三)

運 送 不 動 三 七 二 六 七

郵便所名

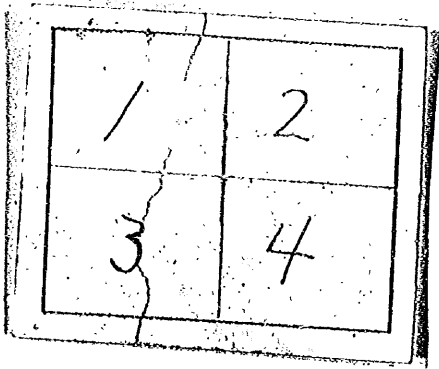
全般概要					全 般 概 要	轉 入 十九年以降	轉 出 十九年以降	員 人 副 總
中 八 第	隊 中 七 第	部 本 隊 大 三 第	季 行 隊 大 二 第	隊 中 銃 關 機 二 第	別 隊	隊 長 名 ( ) 否 は 先 代 を 示 す	戰 闘 間 時 員	開 入 駐 屯 地
約110	約110	約20		約70			平 時 時 戰 時	
右 同	右 同	右 同	右 同	石 磬				
右 同	右 同	右 同	右 同	順 蓋				
戰鬥間の状況及損耗					戰 斗 間 の 状 況 及 損 耗			
終戦後の人員變動					終 戦 後 の 人 員 變 動			
作業大隊より入「ソ」迄の變動					作 業 大 隊 よ り 入「ソ」迄の變動			
隊別計					隊 別 計	入「ソ」入員		
滿洲残留					滿 洲 殘 留			



隊 中 九 第	隊 中 八 第	隊 中 七 第	部本隊大三第	季行隊大二第	隊中銃砲後二第
約110	約110	約110	約20		約70
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同



# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	





乗	隊中通信	隊中砲兵歩	李行隊大三第	隊小砲兵歩隊大三第	隊中銃關機三第	員人編	別隊
						(内は先代を示す)	隊長名
	約100	約100		約40	約70	戦時人員	駐屯地
右同	右同	右同	右同	右同	石塔	平時人員	戦況不明
右同	右同	右同	右同	右同	順旗	戦時人員	戦況不明
						戦闘間の状況及損耗	
						終戦後の人員變動	
						作業大隊より入ソノ迄の變動	
						入ソノ人員	
						満洲殘留	
						收容所名	
						收容所人	
						死亡	
						満洲より	
						歸還人員	
						者	
						数	

歩兵第三七七聯隊(四)

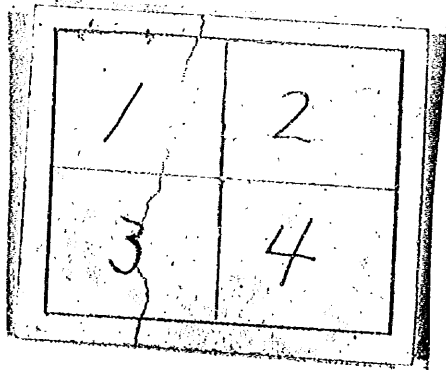
不動三七二六七

郵便番号

李行隊聯	隊小馬勇	隊中信通	隊中砲兵步	李行隊大三第	隊小砲兵步大三第
	約40	約100	約100		約40
右同	右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同	右同

李行隊勝	隊小馬乗	隊中信道	隊中砲兵歩	李行隊大三笠	隊小砲兵歩大三笠
	約40	約100	約100		約40
右同	右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同	右同

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



1360  
1361  
1362  
1363

所 三〇軍第一二三八師團 部隊名 歩兵第三七八聯隊(一) 通稱 不動三七二五九 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	人員編制		隊別		駐屯地		戦闘間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ連の變動		入ソ連人員		満洲残留	
二〇、八一、編成完結 口〇、文河線 口〇、南嶺木 口〇、前 編成時人員約一五〇〇名 二〇、八一、五、容積合 二〇、八一、一七、後軍に集結 在滿歴召番号約一〇〇〇名 死亡約二〇 新屯一奉天に移動 作業四一大隊編入		十九年以降	十九年以降	3409		別 隊		隊長名 (内は先代を示す) 少佐 赤尾 重雄		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ連の變動		入ソ連人員		満洲残留	
中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部	本	隊	長	名	時員	戰人	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	入ソ連人員	満洲残留			
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右	時	員	戰	人	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	入ソ連人員	満洲残留			
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右	時	員	戰	人	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	入ソ連人員	満洲残留			

カラカン 一(第二) カラカン 九(第五)  
二〇一 隊 (第二) 隊  
ウランウ

3409					員人編
三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本	別隊
					隊長名 (内は先代を示す 少佐 赤尾 重雄)
					戦開人 時員
右同	右同	右同	右同	右同	駐屯地 石磐
右同	右同	右同	右同	右同	戦時 順撫
					戦闘間の状況及損耗
					終戦後の人員變動
					作業大隊より 入ソ返の變動
					入ソ人員 隊別計
					滿洲残留
					收容所名
					收容所 スバスク ナムルカンダ (第一機關銃中隊)
					死亡 所人
					歸還人員 滿洲より領計
					者数 状況不明

部隊名 歩兵第三七八聯隊(一)

通稱號

不動三七二五九

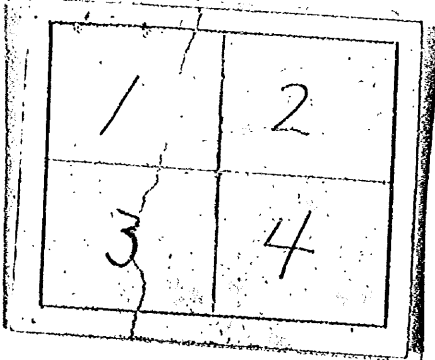
郵便所名







# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1364  
1365  
1366  
1367

						全般概要	所屬
						轉入 十九年以降	三〇軍第一三八師團部隊名
						轉出 十九年以降	
						員人組織	步兵第三七八聯隊(二)
第	第五中隊	第四中隊	第二大隊本部	第一大隊行李	第一大隊步兵砲小隊	別隊	
						隊長名 (内は先代を示す)	通稱號
						戰時人員	
右同	右同	右同	右同	右同	右同	駐屯地	
右同	右同	右同	右同	右同	右同	戰時	
						戰鬥間の狀況及損耗	不動三七二五九
						終戦後の人員變動	
						作業大隊より 入ソ連の變動	郵便所名
						入ソ連人員 除別計	
						滿洲殘留	郵便所名
						收別名	

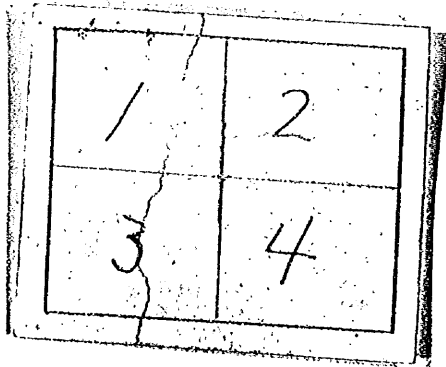
第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊六一第	隊小砲兵歩隊六一第	別	隊	
						隊長名 (内は先代を示す)		
同	右同	右同	右同	右同	右同	時	開人	
						平	戦	
同	右同	右同	右同	右同	右同	時	戦	
						戦	時	
戦斗間の状況及損耗							駐屯地	
終戦後の人員變動							郵便所名	
作業大隊より入ソ迄の變動							入ソ人員	
満洲殘留							満洲殘留	
收容所名							收容所	
死亡							死亡	
満洲ソ領より							歸還人員	
計							計	
者							狀況不明	
数							数	

隊名 歩兵第三七八聯隊(二) 通稱號 不動三七二五九

隊小砲兵歩隊大二第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊六一第	隊小砲兵歩隊六一第
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同	右同	右同



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1368  
1369

所

三

軍 部隊名

第一三八師團挺進大隊

通稱號

不動三七二七〇

郵便所名

全般概要

轉入

轉出

員人調編

別 隊

隊長名

戰 關人

駐屯地

戰鬥間の狀況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入ソ連の變動

入ソ連人員  
隊別計

滿洲殘留

二〇、七、一〇、編成下令  
自二〇、七、八、至二〇、  
七、三十一、基幹要員本部に  
て編成編成業務  
二〇、八、一、編成完結於  
新京  
定員一、一三〇名に對し充  
足約七〇〇名  
吉林、新京、梅河口、撫  
順に移動  
二〇、八、一九、在滿原石  
者約三〇〇名編  
作戰行動關係系連亡五名  
二〇、八、二九、武豊陸隊  
二〇、九、一六、作榮三九  
及四〇大隊に編入  
二〇、九、一七、龍定四  
二〇、九、一七、奉天遺棄  
部隊由入ソ連

北支隊より  
二〇〇〇  
二〇、七、二九  
歩九〇 若干  
北滿三〇九隊  
隊より  
相當數  
其編在滿原石  
者

十九年以降  
十九年以降

1130

本 部

大尉 吉住 總治  
副官 内藤 義雄  
中尉 内藤 義雄

約20

新吉新  
順 撫

約400

第一 隊 中  
少尉 吉田 吉田  
見士 竹中 壽男  
二小 西錦 雅夫  
見士 西錦 雅夫  
三小  
(工兵)

約280

右 同  
右 同

1130

第二 隊 中

少尉 鴻池龍太郎  
見士 宮竹 進  
二小 加藤 芳夫  
見士 加藤 芳夫  
三小  
(工兵)

右 同  
右 同

1130

第三 隊 中

少尉 服部 鏡光  
見士 今西 喜作  
二小  
三小  
(工兵)

右 同  
右 同







二〇、八、二九、武蔵野線  
 二〇、九、一六、作業三九  
 及四〇大隊に加入  
 二〇、九、一七、股定四  
 二〇、九、一七、奉天監獄  
 海軍由入「」

1130

本	部	第一隊中	第二隊中	第三隊中
監督 大藤 義雄		少尉 吉田 見士 竹中 壽男 二小 西錦 雅夫 三小	少尉 鴻池龍太郎 見士 宮竹 進 二小 加藤 芳夫 三小 (工兵)	少尉 服部 鏡光 見士 今西 喜作 二小 三小 (工兵)
約20		約280		
右 同		右 同		右 同
右 同		右 同		右 同

本 部	第 一 中 隊	第 二 中 隊	第 三 中 隊
少尉 吉田 見士小 竹中 善男 二小 西錦 雅夫 見士小 三小 (工兵)	少尉 瀧池龍太郎 見士小 宮竹 逸 二小 加藤 芳夫 見士小 三小 (工兵)	少尉 服部 鏡光 見士小 今西 喜作 二小 三小 (工兵)	
約20	約280		
右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同
約400			
少尉 吉田 見士小 竹中 善男 二小 西錦 雅夫 見士小 三小 (工兵)			

(第二五三號)

少尉 吉田  
見士小 竹中 善男  
二小 西錦 雅夫  
見士小  
三小  
(工兵)